

2020年度信州大学部局推進プロジェクト

人文学的な学び合いの場を地域に創る

～文化芸術教育資源を活用した、まちなか活性化手法の検討～

【人文カフェ】タイガの森に暮らすということ-トナカイと共に、精霊と共に-

人間中心の近代文明から距離をとること、それは一方で、自然に生かされているという感性を磨くことなのかもしれません。多くを所有しないこと、それは一方で、自然との豊かな関係のなかで生きるための知恵を愛でることなのかもしれません。そして、自然を畏怖すること、それは、人類と自然の歴史をたどる思索の旅であり、移動の自由が禁じられたいま、人類に許された唯一の旅なのかもしれません。

第1部では、長年にわたりモンゴルの秘境、タイガ（針葉樹林帯）の森で現地の人々の視点に立ちフィールドワークを続けてこられた西村幹也氏によるタイガの自然やそこに生きる人々の生活についてのお話を、貴重な写真をまじえ、“ヴァーチャルギャラリートーク”という形式で配信します。

第2部では、ウィズコロナの時代に、わたしたちは社会空間、移動、人間と自然との関係をどのように設計し直さなければならないのかをテーマに、タイガの森で自然や動物と調和して生きる遊牧の民の知恵について、西村幹也氏と文化人類学者 村尾静二氏の対談によりお話をうかがいます。

<西村 幹也 氏 プロフィール>



1996年生まれ。現在、北海道羊蹄山麓にて森暮らし。東京外国語大学モンゴル語科卒業。同大学地域文化研究科博士前期課程修了。総合研究大学院大学文化化学研究科（国立民族学博物館）博士後期課程中退。中華人民共和国内モンゴル自治区内蒙古師範大学、モンゴル国国立民族大学、モンゴル国国立外国語大学に留学。

専門は、文化人類学・宗教人類学。研究分野は、モンゴル地域のシャーマニズム、近現代におけるトナカイ飼育民ツァータンの生活変化等。2008年に「NPO法人北方アジア文化交流センター・しゃがあ」を設立し、モンゴルと日本の文化交流活動や情報発信を行っている。2012年、モンゴル国より友好勲章を授与される。

日時：2020年7月26日（日）14:00～16:00

第1部 14:00～15:00 西村幹也 氏によるヴァーチャルギャラリートーク

第2部 15:00～16:00 西村幹也 氏 × 村尾静二 氏（清泉女学院大学人間学部文化学科講師）対談
司会 北村明子

形式：オンライン参加

定員：先着順

参加対象者：どなたでもご参加いただけます。

無料

申し込み方法：kitamurawszemi@gmail.com までメールにてご連絡ください。

*配信リンクは開催前日までにお送りいたします。

注意

リアルタイムでのオンライン配信となりますので、インターネット接続が安定した静粛な環境からのご参加をお願いいたします。

主催 信州大学人文学部

協力 清泉女学院大学人間学部文化学科

NPO法人しゃがあ